

# 工場アートの試み

八戸市は、工場を、景観、まちづくり、観光、文化、産業など多角的にとらえ、地域の宝としてクリエイティブな発想で工場の魅力を発信していく試み「工場アート」を始めています。

八戸市は、海から拓け、海とともに発展してきたと言われるように、その臨海部に発電所から製品製造、食品加工まで多様な工場群が連なります。先の大震災では津波の甚大な被害を受けながら、しかし、すぐに復旧作業にかかった工場を見て、私たちは元気をもらいました。工場が元気であること、工場の街として誇れること。

それは八戸の力です。

輝かしい工場群の夜景、工場と歩んできた港の歴史、工場と発展してきた産業や生活の文化。住んでいる人にはちょっと当たり前かもしれない八戸市の「工場力」に、今着目してみようと思います。

2014年は、八戸市が新産業都市に指定されて50周年。私たちは工場の街で暮らしている、それが皆の誇りとなりますように。

## 工場×アート



八戸工場大学  
2 0 1 4

企画・運営：八戸工場大学プロジェクト事務局・八戸市

協力：J X 日鉱日石エルエヌジー・サービス株式会社

エプソンアトミックス株式会社、東京鉄鋼株式会社、八戸鉱山株式会社

アドバイザー：菊地拓児



特別協賛



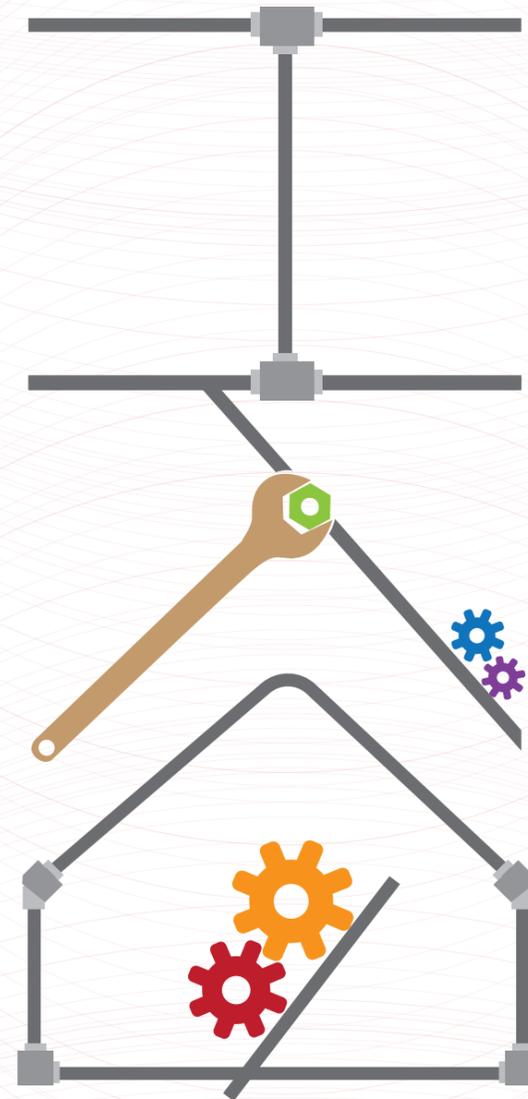
助成



お問合せ先：八戸市まちづくり文化スポーツ観光部 まちづくり文化推進室 文化推進グループ  
〒031-8686 青森県八戸市内丸1丁目1-1 TEL.0178-43-9156/FAX.0178-41-2302

Web : <http://8kojyo.jimdo.com/>

# 工場×アート



Hachinohe Kojyo Daigaku

2 0 1 4

八戸工場大学

# 八戸工場大学とは



八戸は、工場の街。今年は、八戸市が新産業都市に指定されて50周年となります。

八戸市では、八戸の経済を支える地域の工場を、社会的、文化的な側面から、クリエイティブな視点で理解し、その魅力を発信していく「八戸工場大学」を今年も開講します。八戸工場大学は、「工場の街、八戸」を、私たち市民がもっと誇りに思えるようにと開講する、大学形式の市民活動の場です。私たちに新しい気づきと出会いくれる「アート、文化」というめがねで、八戸の工場をみつめ、一緒に活動をしませんか？

- 講義 …………… 工場を知り、工場を文化的視点で考える講義やワークショップ
- 課外活動 …………… 工場見学。講義をふまえて工場を見に行きます。
- サークル活動 …… 工場と協働し、アートプロジェクト(アートイベント)を実践します。

## 工場を学ぼう！工場を楽しもう！



八戸工場大学 学長  
尾刀幸雄  
八戸工場撮影ファンクラブ発起人、八戸経済新聞編集長

若手大学大学院資源開発工学専攻 若手県土木技術振興協会で景観評価や環境アセスメントに携わる。主な論文に「画像処理を利用した露天採掘跡地の景観評価」「緑化による採掘跡地の景観修復効果に関する検討」など。「八戸観光遊覧船で行く工場夜景撮影ツアー」を4年前から行うほか、八戸市広報番組「八戸魅惑の工場萌えツアー」やNHK BS「きらり！えん旅」で、八戸の工場の魅力を伝える案内人を務める。工場群を眺めながらの読書が趣味。

八戸工場大学は昨年度から開講しました。昨年度は前半に八戸市内の工場(八戸製錬、八戸セメント、三菱製紙八戸工場、東北グリーンターミナル)の方を講師に招き工場の事を学びました。後半はアーティストとともに工場の製品(紙、セメント)を使ってワークショップを行いました。講座修了後には、学んだことの集大成として、文化祭を開催し、アーティストや受講生が出演し、多くの方に訪れていただきました。

今年も、八戸を代表する工場から講師を招き、またアーティストとともにアートプロジェクトに取り組む予定です。知っているようで知らない、八戸の工場をテーマにともに学んでいきましょう。多くの方の参加をお待ちしています。



## 2014年カリキュラムのご案内

講義時間【19:00~21:00】

会場：八戸ポータルミュージアム はっち 5F 共同スタジオ (第1回)、2F シアター2 (第2~6回)

 <b>8/6(水)</b> オリエンテーション <b>第1回講義</b> 八戸が工場のまちになったワケ 講師=八戸市産業振興課 工場の話① 新しくできた巨大タンク 講師=J X日鉱日石エルエヌジー・サービス	 <b>8/20(水)</b> <b>第2回講義</b> 工場の話② 八戸の工場の、すごい技術 講師=東京鉄鋼 エプソンアトミックス	 <b>9/3(水)</b> <b>第3回講義</b> アートワークショップ「夢のタンク」 敷地模型で実現させる マイアートプロジェクト ナビゲート=菊地拓児氏	 <b>9/19(金)</b> <b>第4回講義</b> アートと工場。 フレアスタックは アートになりうるのか？ 講師=岡田昌彰氏	 <b>10/1(水)</b> <b>第5回講義</b> 工場の話③ 大地を掘る工場 講師=八戸キャニオン	 <b>10/15(水)</b> <b>第6回講義</b> 産業遺産のツーリズム。 過去になった工場の生かし方 講師=前畑洋平氏
---	--	--	--	--	---

サークル活動 (8月~2015年1月まで)



## 講師・工場のご紹介



岡田昌彰  
近畿大学理工学部  
社会環境工学科教授

茨城県出身。東京工業大学大学院博士課程修了。工学博士。専門は、景観工学、土木史、ヘリテージスタディ。国土交通省国土技術総合研究所研究員、英国ケンブリッジ大学マドナルド研究所客員研究員を経て現職。著書に「テクノスケーブ~同化と異化の景観論」など。昨年の講義では、おみやげ品のパッケージ紹介やふるさとの風景(原風景)としての工場景観の可能性を提示するなど、新しい視座にあふれ、受講生からも大人気。



菊地拓児  
クリエイター  
八戸工場大学アドバイザー

東京藝術大学美術研究科大学院先端芸術表現専攻修了。北海道教育大学岩見沢校芸術文化コース非常勤講師。炭鉱をはじめ鉱山や工場をテーマに創作活動を行う。室長を務めるコールドメイン研究室は各地でアートプロジェクトや展示を行い、学生や参加者とともに、新しいアートのあり方、可能性を実践的に探っている。企画編集に「アートプロジェクト 芸術と共創する社会」(水曜社 2014年)。工場群に惹かれ、八戸に通ってかれこれ5年目。



前畑洋平  
NPO 法人 J-heritage 代表

NPO 法人 J-heritage は、先人の記憶を今に伝える貴重な産業遺産の存在と価値を記録し、産業遺産の魅力を多くの人に知ってもらうためにヘリテージツーリズムという旅を推進する団体。兵庫県神戸市をベースに、日本各地で、産業遺産の記録、調査、産業遺産の見学会、また産業遺産に関する写真提供、印刷物の作成などを実施。今年、兵庫県朝来市にある生野鉱山で、現代美術作品の展示、コンサート、ダンスパフォーマンスを実施予定。



### J X日鉱日石エルエヌジー・サービス



現在、ポートアイランドに建設中のLNG(液化天然ガス)ターミナルの運営会社。LNGターミナルにある2基のLNGタンクには、それぞれ14万キロリットル収容でき、1基を満タンにすると、八戸市内約10万世帯で2年間のガス使用量に相当する。高さ約50メートル、幅約78メートル

のタンクは、八戸の高台から確認することができ、八戸の新しい海のシンボルに仲間入り。屋根をとりつける際は、重量約1600t(直径約74m)の屋根を約4時間かけて持ち上げた。2015年4月に運転開始予定。



### エプソンアトミックス



1999年に大平洋金属株式会社の金属粉末事業および金属射出成形事業を継承して、セイコーエプソン株式会社100%出資により設立された企業。現在は金属粉末、金属粉末を原料とする金属射出成形(MIM)部品、人工水晶原石の製造を行っている。

特に、微細合金粉末の製造においては世界シェアNo1であり、スマートフォンなどの高機能モバイル機器、自動車、医療機器などの市場拡大に対応するために、昨年、八戸北インター工業団地に新工場を建設した。



### 東京鉄鋼



主に、建材の鉄筋コンクリート用棒鋼などを製造、販売するメーカー。八戸工場は港湾立地型の電気炉工場として昭和51年に誕生した。現在は、長年培ってきた鉄の選別技術、電気炉による熔融技術を駆使して地域に貢献するユニークな資源リサイクル企業としての役割も大きい。1日60トンの産業

廃棄物を許容することができる。三菱製紙、八戸製錬とならび、沿岸部の巨大工場群を形成しており、外観から見た工場のインパクトも大きい。



### 八戸キャニオン(八戸石灰鉱山)



八戸鉱山株式会社が運営する、石灰石の露天掘り鉱山。南北1.8km、東西1km、海拔マイナス170mというスケール。その迫力は、展望台からの見学者を圧倒させる。飛行機からもこの場所のすごさを確認できるほど。

ここで採掘した石灰石は、八戸市の地下を通るベルトコンベアで、白銀の専用埠頭へ、また、途中で分岐して八戸セメントの工場に輸送されている。アメリカのグランドキャニオンみたいに、いつか世界遺産に登録されるのではないかと、市民はひそかに楽しみにしている(はず)。



### 課外活動 (9~10月を予定)

受講生で工場見学に出かけます。(工場の外からの見学となる場合もあります、場所未定)



### サークル活動

J X日鉱日石エルエヌジー・サービスと協働し、LNGターミナルを取り上げたアートプロジェクトを実施します。講義の時間内で企画についてのミーティングや作業を行うほか、講義時間外に準備を進め(任意)、2015年1月の実施を予定しています。